

はじめに

本座一分銀は天保八年（一八三七年）から明治二年（一八六九年）にかけて製造されました。

本座とは別に、多くの別座（劣位）一分銀も造られ、天保・安政・明治に至ります。

一分銀には表にも裏にも二〇個の桜印が打たれています。例外を除くと表にも裏にも各ターケ所ずつ逆桜になっています。不明ではありますが、偽造防止の為、或いは製作上の統一の為に意図的に製造したと思われるます。

別座（劣位）一分銀も本座の一分銀を参考に製作されたものと思われるます。別座（劣位）一分銀の製造場所は密造（禁断）の為、幕府に隠れて製作しました。その為、本座一分銀の品位よりも大きく劣るものもあります。

この本は別座（劣位）一分銀を主体に置きました。

一分銀の分類は多くて比較的安価で大変面白く収集できます。

この本は私なりの解釈で書きましたが、見解の相違もあるかと思えます。

この本をきっかけに一分銀の話題で大いに盛り上がり上げて頂ければ幸いです。

目次

天保期別座(劣位)一分銀	7
天保期別座(劣位)一分銀 Zzタイプ「切口仕上有り」	33
天保期別座(劣位)一分銀 乱桜「切口仕上有り」	47
天保・安政期別座(劣位)一分銀	51
天保〱明治期別座(劣位)一分銀・切口仕上無し	57
天保一分銀(本座)	59
安政期別座(劣位)一分銀	65
安政期別座(劣位)一分銀 Zzタイプ「切口仕上無し」	123
安政期別座(劣位)一分銀 乱桜「切口仕上無し」	129
安政・明治期別座(劣位)一分銀	133
安政一分銀(本座)	143
安政一分銀(本座)「細字」	151
安政一分銀(本座)「玉一玉座」 「入分玉座」	159
明治期別座(劣位)一分銀	165
明治一分銀(本座)	175
特殊一分銀(本座・別座【劣位】) 「逆打・定落・その他」	181
庄内一分銀(本座)	185
庄内一分銀(偽物)	195
エラー一分銀(本座・別座【劣位】)	197
天保・安政期別座(劣位)一分銀 廃貨	207

桜極印の正桜と逆桜



本座桜極印の位置記号と各鑄造期の分類範囲

逆桜極印がないものは Zz とします。
(表裏)

表面					裏面						
A	B	C	D	E	a	b	c	d	e	安政一分銀範囲	表: A、B、C、D、E、F、G、Z 裏: a、b、c、d、e、f、g
F				G	f				g		
H				I	h				i	明治一分銀範囲	表: B、H、J、K、M、N 裏: b、h、i、j
J				K	j				k		
L				M	l				m	天保一分銀範囲	表: P、Q、R、S、T、Z 裏: l、m、n、o、p、q、r、s、t、z
N				O	n				o		
P	Q	R	S	T	p	q	r	s	t		

凡例



分類名称

画像 (左: 表面、右: 裏面)

掲載画像は原寸の約2倍大

表面書体名称

裏面書体名称

重量

位付 (5 から数が少なくなるにつれ稀少度が上がる)

へ山、上斜斜点、欠金、短柱	8.65g	へ山、上斜斜点、X銀
先太人銀	位付 2	トジ座・アキ常・トジ、止交叉是